生徒指導だより　9月号

明るく　正しく　元気よく

内子町立内子小学校

２学期が始まりました！

２学期が始まり、子供たちは元気に学校へ登校してきました。今年の夏休みも子供たちは、学校からの約束をしっかりと守り、非行０・事故０で過ごすことができました。保護者の皆様の御協力に感謝しています。

本校では、２学期も引き続き「みんな違ってみんないい～一人一人が大切にされ、共に伸びる内子小学校～」を目指して全教職員一丸となって取り組んでまいります。いじめや不登校等について迅速に対応いたしますので、気になることがありましたらすぐに連絡してください。これからも、『子供たちの良いところ』をたくさん見付けて褒め、認め、伸ばしていきたいと思います。

『不登校』とは・・・

文部科学省(統計調査で用いる場合)の定義では、『何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくてもできない状態(病気や経済的な理由によるものを除く)にあり、年間欠席日数が 30 日以上』とされています。

不登校になる最大の理由は「休みが続いたから」と言われています。3日連続して休むと、「どんな顔して学校へ行けばいいのか」「友達に何と言えばいいのか」「勉強が分からなくなる」などの心配が増えてきます。体調が悪い時など、必要に応じて休養をとることは大事ですが、欠席が長引かないように子供を支援していくことも大切です。

子供たちが元気に生活するための対応ポイント

【家庭での対応】規則正しい生活を！

夜遅くまでテレビやスマートフォン、携帯ゲーム機などを使用し、生活が不規則になり、朝起きることがつらい子供たちがいます。使用時間の制限やルールづくりを行い、家庭での習慣付けをお願いします。

【学校での対応】

本校では、不登校を予防するために、休み始めてから数日間の対応を重要視しています。

感染症や明らかな体調不良以外で、３日連続で休んだ場合は、家庭訪問をするようにしています。学級担任をはじめ、養護教諭や生徒指導主事等と共に組織的に対応できる体制を整えています。